

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------|----|--|--|-------------------------|--|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 【I 理念に基づく運営】 | | | | | |
| 1. 理念の共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 運営理念があり、玄関とホールに掲示している。 | ○ | 地域に出る機会を増やす取組みにより、より生活の幅が持てるようにしたい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎月の会議やケアプラン検討会には、常に確認して実践に努めている。 | | |
| 3 | — | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる | 広報誌やパンフレットの作成、配布により浸透に努めている。 | ○ | 地域の方々との交流の機会を増やしていきたい。 |
| 2. 地域との支え合い | | | | | |
| 4 | — | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 日常的な挨拶は交わしている。時々、併設の施設の御利用者が遊びに来られている。 | ○ | まだ、気軽に立ち寄るといふ風ではないが、交流できる機会をより増やすことによって気軽に立ち寄って頂けるようにしていきたい。 |
| 5 | 3 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域の保育所の行事などへの参加、ホームが開催する地域交流会や納涼会にお招きすることによって地元の方々との交流に努めている。 | ○ | 交流の回数が増やせるように計画している。 |
| 6 | — | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事務所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 民生委員や町内会長に事業所の活動内容の説明を行うと共に、併設施設職員とも協力を図りながら、地域の方々の声が聞けるように地域交流会を開催している。 | ○ | 運営推進会議のメンバーの方々にも協力を頂きながら、地域交流会等を通じて地域の高齢者の支援に繋がるように計画している。 |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 改善点については諸会議において検討して日々改善に努めている。 | | |
| 8 | 5 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議のメンバーの意見交換を通じて地域交流に繋がる提案を実践している。(お宮のお祭りに参加する等) | | |
| 9 | 6 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | グループホーム協議会を通じて市の職員との意見交換や協力体制を図っている。 | | |
| 10 | 7 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 外部の研修会に参加したり、施設内研修を行っている。入居の際にはご家族に説明をしている。必要な方には活用できるよう支援している。 | ○ | 外部研修に全職員が参加できるようにしていきたい。 |
| 11 | — | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部の研修に参加したり、施設内研修を行い虐待に繋がらないよう努めている。 | ○ | 御利用者の尊厳を守るため定期的に研修を重ねていきたい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | — | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居の際には契約書、重要事項説明書を元に利用案内について説明して充分理解された上で利用して頂けるようにしている。 | | |

福岡県 グループホーム花みずき 地域密着型サービス外部評価の自己評価票 (網掛け部分は外部評価の調査項目)

| 項目番号 | | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------|----|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 13 | — | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表 せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ケアについての御利用者、御家族の意見はモニ タリング調査によりケアプランに反映させてい る。他に、苦情に対して意見箱の設置、重要事 項説明書に苦情相談窓口の掲載、ホールに苦情 相談窓口の連絡先と第三者委員の配置について 掲示し介護サービス相談員の受け入れをしてい る。苦情については記録に残し、即時に対応し て改善に努めている。 | | |
| 14 | 8 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の 異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をして いる | 毎月、近況報告と預かり金の収支報告書を 送付すると共に、体調の変化や普段見られ ない状況などについては随時報告をしてい る。 | | |
| 15 | 9 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表 せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ケアについての御家族の意見はモニタリング調 査によりケアプランに反映させている。他に、 苦情に対して意見箱の設置、重要事項説明書に 苦情相談窓口の掲載、ホールに苦情相談窓口の 連絡先と第三者委員の配置について掲示してい る。苦情については記録に残し、即時に対応し て改善に努めている。 | | |
| 16 | — | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会 を設け、反映させている | 会議において運営や業務について職員の意 見を収集し、管理者から運営者へ報告、相 談して反映させている。 | | |
| 17 | — | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、 必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努 めている | 認知症の進行に伴い介護量が増えるに従っ て職員間で話し合い、試行しながら柔軟な 対応ができるように努めている。(業務の 見直しや勤務時間等) | ○ | 試行的に勤務時間を変更した。職員配置を 増員した。 |
| 18 | 10 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられ るように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場 合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の事情により勤務が困難になった場合 でも非常勤勤務職員としての継続勤務を促 進したり、勤務時間の柔軟な対応に努めて いる。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|----|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 11 | ○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | 職員採用にあたっては性別や年齢等、特に制限は設けていない。個人の意欲を尊重して、採用後も個性を生かしたケアの実施に努めている。(レクリエーションや行事の企画など) | | |
| 20 | 12 | ○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる | 外部研修への参加を促進すると共に、外部研修を受けた職員は、会議で資料を配布、内容の説明を行い内部研修に繋げている。 | | |
| 21 | 13 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修、内部研修への積極的参加を促し、また職員の資格取得については、より専門性のある資格取得を呼びかけている。 | | |
| 22 | 14 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会に加入し、情報交換や職員研修を受けている。グループホーム間の訪問による交流を持ち質の向上に努めている。 | | |
| 23 | — | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 介護サービス相談員の受け入れを行ったり、勤務シフトに職員の休日希望を取り入れて、プライベートを尊重できるように配慮している。 | | |
| 24 | — | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 資格取得の奨励や研修等への参加を促進して職員の技術の向上、知識の習得を図ることで向上心に繋がるように努めている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|--|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 25 | — | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 相談から利用に到るまでに、本人の困っていること、不安なこと等充分に話を伺える機会を持つことや本人から話しやすい雰囲気作りにより、職員の気づく力を養えるように努めている。 | ○ | 職員の気づきの力を養える研修を増やしていきたい。 |
| 26 | — | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 相談から利用に到るまで遠慮なく相談して頂けるよう、充分に話を伺える時間を持つようにし、誠意を持って対応するように努めている。 | | |
| 27 | — | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談を受けた時に、適切なサービスの利用ができるよう関係機関に問い合わせたり、サービスの内容を紹介するよう努めている。 | | |
| 28 | 15 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 見学や1日体験利用や数日間の体験利用などを利用できるようにし、馴染みながら納得して利用できるように努めている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 29 | 16 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 日常生活を通じて、料理等家事作業について御利用者の経験や知恵を参考にしている。 | | |
| 30 | — | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 御利用者の日頃の様子を報告することや介護計画作成において希望を伺うことを通じて共に御利用者を支えていくチームとなるように努めている。 | ○ | 家族交流会を開いて交流を深める機会を増やしたい。 |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|----|--|--|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 31 | — | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 定期的に写真を同封したお便りや電話で近況報告を行うと共に、遠方の御家族へは御利用者と電話で連絡が取れるように努めている。 | | |
| 32 | — | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 気軽に訪問して頂けるよう、また外出に関しては本人の行きたい場所や馴染みの場所に行けるように努めている。 | | |
| 33 | — | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている | 全員で楽しめるレクリエーションや外出などを通じて交流を深めると共に、職員はホームの中が明るい雰囲気になるように、できることには携わってもらえるように努めている。 | | |
| 34 | — | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 退所時には、何かお手伝いできることがあれば連絡頂けるようにとお伝えしている。 | | |
| 【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】 | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 35 | 17 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人の思いを尊重した介護計画を立て支援するように努めている。 | | |
| 36 | — | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前に確認するように努めている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|----|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 37 | — | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 一人ひとりの体力に応じた生活を送って頂けるように努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 38 | 18 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 御利用者、御家族の希望を確認して職員間で検討してその方らしく生活できるように計画を作成するように努めている。 | | |
| 39 | 19 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 状況に応じて御本人、御家族、主治医や職員と相談して介護計画書を現状に即した計画に変更するように努めている。 | | |
| 40 | — | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子は個人記録に記入し、朝礼や会議において職員間で情報を共有して見直しに活かせるように努めている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 41 | 20 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 併設のデイサービスの利用や受診の付き添い、病院の入退院時の付き添い等柔軟な支援に努めている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 42 | — | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 民生委員の方がボランティアで開いている折り紙教室に参加したり、他にも学生や大正琴のボランティアを受け入れている。また防災訓練では消防や近隣の警察官舎の協力を得ながら緊急時の人員要請等の連携も取っている。 | | |

福岡県 グループホーム花みずき 地域密着型サービス外部評価の自己評価票 (網掛け部分は外部評価の調査項目)

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------|----|--|---|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 43 | — | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている | 必要時には、包括支援センターやケアマネージャーに相談している。 | | |
| 44 | — | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 地域包括支援センターの職員に運営推進会議のメンバーに入って頂き相談に繋がっている。 | | |
| 45 | 21 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 御利用者、御家族の希望される医療機関にかかって頂きながら現状の報告等連絡取り合い、適切な医療が受けられるように努めている。 | | |
| 46 | — | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 提携医に認知症について相談できる医療機関があり、必要時には相談や受診ができる。 | | |
| 47 | — | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 週に1日看護師が勤務していて健康管理を行っており、併設施設には看護師が勤務しているので相談できる体制になっている。 | | |
| 48 | — | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院された場合は、お見舞いに伺いそのときの状況は個人ケースに記録している。御家族や主治医と連絡を取って現状を把握しておき早期退院に繋がるように努めている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|----|--|---|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 49 | 22 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化に伴い御家族、主治医と連絡を密にとり、現況において最善の方針を立てるように努めている。 | | |
| 50 | — | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 主治医の意見と職員間で話し合ったホームでできることを御家族に説明し、相談して現況において最善の支援ができるように努め、今後、想定できる状況において検討、準備するように努めている。 | | |
| 51 | — | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 住み替えによる退所においては、本人の思いや生活の様子、必要とされている援助についてケア関係者へ情報提供を行いスムーズに住み替えができるように努めている。 | | |
| 【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 52 | 23 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員は、常に年長者に接するということを念頭において、誠意ある態度で、さりげない介護を目指して業務に取り組むように努めている。 | | |
| 53 | — | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 日常的に外出先や外出着の選択、外食時に食べたい物や昼食作りの献立、おやつ作りの献立等、御利用者に分かりやすく伝えて希望を伺うように努めている。 | | |
| 54 | 24 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | できる限り本人の体調や気持ちに沿って生活できるよう、臨機応変な対応ができるように努めている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 55 | — | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 外出時や何か集まりのある時には、着衣は選択できる方には選んで頂くように努めている。理美容は、御家族が以前から利用されていたお店にお連れしている方、訪問の理容室を利用している方がおられる。 | | |
| 56 | 25 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 調理や盛り付け等分担して、できることに携わって頂きながら、一緒にするように努めている。 | | |
| 57 | — | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 御家族や主治医と相談しながら、できる限り御利用者の気持ちに添えるように努めている。 | | |
| 58 | — | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄意が確認できなくても定期的にトイレに座って頂くことで自然排泄に繋がれるように努めている。 | | |
| 59 | 26 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 毎日入浴が出来るようにしている。 | | |
| 60 | — | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 御利用者の希望に沿って居室や共有スペースのソファや畳のスペースを利用して休息できるように努めている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|--|--|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 61 | 27 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 介護計画書を立てるときに御利用者、御家族から希望をお聞きして出来るだけ沿えるように計画を作成している。 | | |
| 62 | — | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 御利用者によっては、少額のお金を所持しており、売店や外出時にお菓子などを購入している。御利用者から希望があれば、御家族の了解のもと預かりのお小遣いから使うことができる。 | | |
| 63 | 28 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 定期的に散歩や外出を御利用者の希望や職員の提案により計画して行っている。 | | |
| 64 | — | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 馴染みの場所や行きたい場所への外出を支援している。 | | |
| 65 | — | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 共有のスペースに自由に使用できる電話を設置している。 | | |
| 66 | — | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している | 訪問時には融通を持って対応し、ゆっくり過ごせるように支援している。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|----|---|---|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 67 | — | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束・事故防止委員会を設置して研修しており、身体拘束をしないケアに努めている。 | | |
| 68 | 29 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 随時、御利用者の所在を確認すると共に、出入り口にセンサーを設置して人の出入りが確認できることで玄関に鍵を掛けないように努めている。 | | |
| 69 | — | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 昼夜共、定期の巡回以外でも体調の悪い方や落ち着かない様子でいらっしゃる方には随時様子を観察し、適切な対応ができるように努めている。 | | |
| 70 | — | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 職員間で「ヒヤリはっと」を報告し、相談して事故につながらないように努めている。 | | |
| 71 | — | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 外部の研修や施設内研修を通じて学ぶと共に事故発生時の対応マニュアルをもとに対応している。 | | |
| 72 | — | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 定期的に外部研修や施設内研修を通じて訓練を行っている。 | ○ | 繰り返し訓練して全職員が落ち着いて対応できるようにしたい。 |

福岡県 グループホーム花みずき 地域密着型サービス外部評価の自己評価票 (網掛け部分は外部評価の調査項目)

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|----|--|---|-------------------------|----------------------------------|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 73 | 30 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 災害時の避難訓練を2ヶ月に1回行い、年に1回は地域の方々に参加して頂き避難訓練を行っている。 | | |
| 74 | — | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 日々の状況は電話やお便りでお伝えし、状態に変化がある時は随時報告して御家族と相談して対応策を検討している。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 75 | — | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎朝の朝礼時や随時において体調不良者を確認し、必要時には受診している。 | | |
| 76 | — | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 受診時に処方される薬については、職員に説明すると共に御利用者一人ひとりの薬の手帳や記録ファイルに処方薬一覧表を綴じていつでも確認できるようにしている。 | | |
| 77 | — | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 食材はバランスよく用い、毎日の体操や水分摂取が不足しないように支援している。便意がない方も定期的にトイレに座って頂けるよう支援している。 | | |
| 78 | — | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後に全員が口腔ケアをしている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|----|---|---|-------------------------|---|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 79 | 31 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事の献立は栄養士が立てており、状態に応じて食事や水分形態に配慮して安全に摂取できるように支援している。水分量は食間や就寝前にお茶の時間を設けて不足しないよう支援している。摂取表で確認して適宜補えるようにしている。 | | |
| 80 | — | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 外部研修を受け、マニュアルを作成し施設内研修をしている。 | | |
| 81 | — | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | まな板、包丁は野菜用と魚肉類用に分けており毎食の調理後に熱湯消毒と塩素系漂白剤に浸し消毒している。布巾類も毎食後に塩素系漂白剤に浸して消毒している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 82 | — | ○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 建物の外壁には昼夜でもわかりやすいように看板を取り付け、入りやすいように玄関周囲には草花を植えている。 | ○ | 建物の1階がデイサービスセンターで2階がグループホームになっていることもあり気軽に立ち寄られる方は少ない。交流を通じ行き来を増やしていきたい。 |
| 83 | 32 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホール内は天窓から自然光を取り入れるようにしており、テレビの音量に配慮してホールの壁には御利用者と一緒に制作した季節感のあるカレンダーを掲示している。 | | |
| 84 | — | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 居室以外には完全に独りになれる空間はないが、ホールの脇に畳のスペースは気軽に腰かけて話をするスペースになっている。建物の1階のデイサービスセンターの利用は自由に行ける。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組んで いきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|----|---|---|-------------------------|--|
| 自己 | 外部 | | | | |
| 85 | 33 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時には、御利用者の馴染みの物を持ち込まれたり御利用者や御家族が望まれるお部屋作りをして頂けるよう支援している。 | | |
| 86 | — | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 換気や温度調節を定期的に確認するようチェック表を作り行っている。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 87 | — | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室内や廊下、階段に手摺りを設置しており居住空間に段差を作らずホール内に3か所のトイレを設けている。各居室の出入り口はホールから見渡せるようになっている。 | | |
| 88 | — | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 「わかることわからないシート」に情報をまとめており、わからないことに関してはさりげなく支援できるように配慮している。 | | |
| 89 | — | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 御利用者と一緒に玄関前やベランダには草花を育てており、ベランダには洗濯物や布団を干すようにしている。 | ○ | 建物の周囲は車が通ることもあり、併設施設の庭を利用して併設施設御利用者と野菜や草花を育てている。 |

| 項目番号 | | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 | |
|------------------------|----|--|------------------|---|
| 自己 | 外部 | | (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
| V サービスの成果に関する項目 | | | | |
| 90 | — | ○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 91 | — | ○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 92 | — | ○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | — | ○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | — | ○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | — | ○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 96 | — | ○利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど掴んでいない |

| 項目番号 | | 項 目 | 取 り 組 み の 成 果 | |
|------|----|--|------------------|---|
| 自己 | 外部 | | (該当する箇所を○印で囲むこと) | |
| 97 | — | ○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない |
| 98 | — | ○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている | ○ | ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |
| 99 | — | ○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 100 | — | ○職員は、生き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 101 | — | ○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 102 | — | ○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

花みずきの御利用者が伸び伸びとして笑顔のある生活が送れることを念頭において、親切で誠意のある対応、好きな場所への外出や多様な行事やレクリエーションを企画して楽しんで頂けるように配慮しています。また併設のデイサービスセンター、軽費老人ホームとも協働して生活の幅を広げられるように取り組んでいます。